

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

# 安藤たい作

ニュース 第14号 (新年合併号)

濱野区長「区民の声聞く」 口にするなら・

## 待たれています、 区民ニーズ反映させる仕組み



今乗っている自転車は高校生から乗ってます。すぐ故障するし手間がかかる奴ですが、そのぶん愛着もあります。名前は「佐那吉」、私の相棒です。



漫画：安藤たい作

### 1000名を超す請願は「否決」

10月の補選で当選して三ヶ月。第四回定例議会では初一般質問に立つなど、貴重な経験を幾つもさせて頂きました。しかしこの三ヶ月間の議会経験で最も印象的だったのは、11月29日に行われた行財政改革特別委員会での質疑でした。

この日の議題は南品川にあるシルバーセンターの一階部分の保育園が移転することにもない、その跡地をどう利用していくかという問題でした。区側は、この日初めてエレベーターの設置や介護予防拠点・ボランティア活動拠点など、跡地利用の方向性を示しました。

しかしその二日前の厚生委員会には、この南品川シルバーセンターにお風呂やエレベーターの設置を求める1千名を超す請願署名の審議がかけられていました。ところがその場では、すでに決まっていたはずの区側の跡地利用についての考え方は一切示されず、請願は否決されていました。あまりに請願を出した人達に対して不誠実な態度です。

私は「区民の財産である跡地をどう利用するかに関し、区民の声やニーズをいかに反映させていくかというのは大事な観点。」と指摘。非常に具体的な形であり、かつ区政参加の一番王道ともいえる「請願」という区民ニーズを、区は重視し反映させていくつもりがあるのかただしました。区は「担当部署が日々お客様と接する中で(区民の声は)聞いている」と繰り返し、最後まで明確に答えません。請願はないがしろにし「私達はいいつも声を聞いている」の一辺倒では、「区民の声を聞きたい」と所信表明した濱野区長の名が泣きます。

**安藤たい作プロフィール** '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

**安藤たい作ニュース** は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。